



かわしま

mail:y3kawash@edu.city.yokohama.jp

http://www.edu.city.yokohama.jp/sch/es/kawashima/

学校だより 2月号
平成24年2月1日
横浜市立川島小学校
校長 小池 慎一
TEL 371-0757
FAX 381-7248

見慣れたつもいの風景の中に

学校長 小池 慎一

2月を迎え、本年度も残すところあと2カ月となりました。学習面も生活面も進級という節目の時期にさしかかり、各学年それぞれにまとめを行っています。校内を巡回してみると、4月の進級した頃の頃と比べ、子どもたちの一段と成長した姿を目にし、うれしくなります。

そんな折、2年生の教室に、大きな九九表が教室の前面にはりだされているのを見つけて、この時期の見慣れた風景の中で「九九の学習が終わったのだな。」「全員の子どもたちが覚えきれていればよいけれど、全部を覚えるのは大変なんだよなあ。」と思うのです。

さて、九九表といえば、正方形の形をしています。正方形といえば折り紙。折り紙といえば四隅をきちんとそろえて折ることが大事…といったようなことを連想してしまいます。

×	1	2	3	4	5	6	7	8	9
1	1	2	3	4	5	6	7	8	9
2	2	4	6	8	10	12	14	16	18
3	3	6	9	12	15	18	21	24	27
4	4	8	12	16	20	24	28	32	36
5	5	10	15	20	25	30	35	40	45
6	6	12	18	24	30	36	42	48	54
7	7	14	21	28	35	42	49	56	63
8	8	16	24	32	40	48	56	64	72
9	9	18	27	36	45	54	63	72	81

その九九表の四隅の数字を見ると、4つの数字の和（合計）が、ちょうど100になっています。（ $1 + 9 + 9 + 81 = 100$ ）

「不思議なこともあるものだ。」と思って、そのすぐ内側の数字（4, 16, 16, 64）を見ると、和が100になっています。

さらにその内側の数字（9, 21, 21, 49）を調べると、やはり和が100になり、同じように調べると、中心の25を除いて、四隅の数字の和は、どこも100になっています。

ところが、よく見てみると、実はもっと他にも、和が100になる組み合わせがあるのです。一番外側の四隅の数字（1, 9, 81, 9）を、例えば右廻りに1つ分ずつ動かした場所の数字（2, 18, 72, 8）も、和が100になっています。さらに、もう1つ分ずつ右廻りに動かした場所の数字（3, 27, 63, 7）でも、同じように和が100になっています。

この考え方で九九表を見ると、中心の25を除いて、和が100となる4つの数字の組み合わせがちょうど20組で、九九表が完全に埋め尽くされていることが分かります。

九九表なのに、100というちょうどよい数で埋め尽くされている美しさを見つけて、何だかステキな気分になってしまいます。（中心の25も、4つあると思えば、100です。）

九九表をずいぶん昔に卒業したつもりでいた大人にとっては、何気なく見過ごしてしまう、そこに隠された「不思議」或いは「謎」とでも言える事柄は、もしかすると、子どもたちにもあてはまることなのかも知れません。毎日見ているからよく分かっているつもりでいても、別のもっとステキな面を見落としているのかも知れないと思ったら、子どもたちのステキな面を、もっともっと見つけていきたい、そんな気持ちになりました。